第9回クリーンアップ大作戦

天然のアユが遡上する前に
年に一度の“芥川の大掃除”を実施します！
清掃活動後は、ご飯とみそ汁のまかないつき！
みなさんの参加をお待ちしています。

2014年 3月15日（土） 10時～（小雨決行）

集合場所
下の地図の①～④の各地点
●４か所のうちご都合のいい所へお越し下さい
●④の解散場所は津之江公園になります
●お車でのご来場はご遠慮下さい

※みそ汁用コップ・長靴は各自でご用意ください。
※作業用手袋･ゴミ袋は集合場所で配布します。
※清水池コミュニティセンター前河川敷で防災体験講座開催
(12時30分～)

※雨天中止の判断は、当日、午前7時に行います。
情報は『芥川倶楽部ブログ』
http://akutariv.blog85.fc2.com/ に掲載します。

平成26年度事業のお知らせ

今年度は、芥川倶楽部の設立10周年です。様々な記念イベントを予定しています。皆さん是非ご参加ください。

５月　高槻ジャズストリート
　　inあくあぴあ芥川（3・4日）
　　ヒメボタル観察会（新川）（17日）
６月　あくあぴあふれあいフェスタ（7日）
７月　定例総会（5日）
　　お父さんのための魚とり講座
　　（26日）
１０月　アユ産卵場整備（18日）
　　芥川倶楽部10周年記念展示
　　（10月末～11月末）
１１月　アユの卵を探そう（15日）
１２月　ミズヒマワリ駆除（6日）
３月　クリーンアップ大作戦（21日）

この他にも、芥川に遡上しているアユの遡上調査や、ミズヒマワリの駆除イベントも実施します。また、毎月第三土曜日にはあくあぴあ芥川周辺において定例活動も行っています。みなさんどんどん参加してくださいね。
詳しい内容、日程等につきましては、芥川倶楽部ブログでご確認ください。

～「魚みち」でアユの遡上をカウントするボランティア大募集！！～

2011年、芥川下流部の堰に魚みちができ、上流まで多くの天然アユが遡上しました。2012年の調査では、1万尾、2013年は、6,300尾のアユが遡上しています。運が良ければ、何百尾ものアユの遡上が見られるかもしれません。今年もどれだけ多くのアユが遡上するか、みんなで調査を行います。多くのみなさんのご参加、お待ちしています。

調査期間：5月１日～7月15日　9:00～15:00
　　※調査日は希望日を調整後、決定次第お知らせします。
調査場所：芥川大橋上流の堰の魚みち（高槻市芝生町2丁目地先）
調査方法：ボランティア調査員2名で、
　　魚みちを通過する魚を目視カウント
　　毎正時10分間を2回カウントし40分休憩
　　水温・水深等も計測（温度計等、器具貸出）
応募条件：ボランティア保険に加入します。（費用：主催者負担）
調査説明会：調査方法等の詳細については、別途説明会を実施します。

お問い合わせは、茨木土木事務所　地域支援・防災グループ
（TEL：072－627-1121）まで。

芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントに一緒に参加してくれる方を募集しています。
イベント等の情報は下記の芥川倶楽部ブログにて、紹介しておりますので、ぜひご覧ください。
ブログ :http://akutariv.blog85.fc2.com/　　HP :http://akutagawaclub.web.fc2.com/
e-mail : akutagawa0726@yahoo.co.jp

～～～「芥川」はみんなの川です 「芥川」をきれいにしましょう ゴミを捨てないようにしましょう ～～～

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより

Vol.18
2014年
春号

「歩いて知ろうよ芥川 3」を実施しました！　11月16日
～みんなで親しみやすい芥川を考えよう～

人にやさしい川づくりの活動として、どうしたらもっとみんなが集まれる、親しみやすい芥川にできるかを考えるためにウォーキングイベントを開催しました。このイベントは3回目で、過去の2回は、芥川やそれにまつわる歴史、生きものなどについてより深く知っていただくことを目的としていましたが、今回は今後の芥川がどんな姿であって欲しいか、考え語り合う機会としていただくことを目的に開催しました。

当日は晴天にも恵まれ、37名の参加は、3班に分かれて芥川沿いをウォーキング。コースは、JR高槻駅北側をスタートし、芥川宿一里塚⇒角落し⇒芥川橋⇒桜堤公園⇒水位計⇒ブロック魚道⇒トロッコ鉄橋跡⇒大蔵司橋⇒水管橋を通り、あくあぴあ芥川をゴールとする約3kmのもの。解説を聞きながら、2時間ほどで歩きました。

一里塚では、西国街道や芥川宿の長い歴史を知り、芥川橋から北を臨むと、青空のもと山にかかった白い雲、桜堤公園の紅葉が川面に映えて、まるで絵を見ているようでした。

参加者アンケートでは、トイレの整備、遊歩道の整備（橋を含む）を望むものが多く、「水が透明できれい」、「芥川がこんなにきれいだと思わなかった」、「ゴミがあったのが残念」等という感想もいただきました。

信長や秀吉も前を通った一里塚

平成26年(2014年)3月 発行　**芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川倶楽部**
事務局：NPO法人芥川倶楽部　ホームページ　http://akutagawaclub.web.fc2.com/　ブログ　http://akutariv.blog85.fc2.com/
問合せ先：　あくあぴあ芥川　〒569-1042　高槻市南平台5丁目59番1号　TEL　072(692)5041

～～～ 「芥川」は大阪ミュージアムの登録物に認定されています ～～～

『アユがのぼる川づくり』を開催！　2月22日

芥川でアユの赤ちゃん発見！
～摂南大学環境工学科4回生　才野 紅葉 さん～

11月8日～29日の夕刻に、芥川大橋直下でアユの赤ちゃん、仔魚（しぎょ）69個体を確認。今年は10月下旬に産卵後、11月上旬に孵化したことが推測されるとのこと。この2年、遡上は確認できても（2012年11,056尾、2013年6,299尾）中流域でアユをあまり観測出来ず、芥川に遡上したアユはどこにいった？産卵は無理かなあと思っていたので、この才野さんの調査結果ではとても感激です。育ってたんですね、アユちゃん！

延べ11日間の調査ご苦労さまでした。

大きくなるための栄養分となる卵黄を抱えた仔魚。

芥川の水温と湧水を調べました
～芥川倶楽部 中村 健志 さん～

夏の芥川は、水量が少なくぬるま湯のようなのでアユは湧水箇所周辺に生息しているのではないかと推測し調査。あくあぴあ芥川付近は、周囲より5℃くらい低い湧水箇所を確認したが、津之江～桜堤公園は天井川なので湧水は見られず水温33-34℃（8月12日）。

深みのところは少し冷たいがそれでも30℃以上。アユにとって快適とは言えません。芥川のアユはどこで育っているのか、今後も調査を継続します！

2013年台風18号の影響
～芥川倶楽部副代表　山本 忠雄 さん～

台風18号による増水は桜堤公園の風景を一変。洪水の恐ろしさを感じる一方で、河原の堆積土砂はすっかり流され、陸地化していた河原が水辺の環境に戻るかもしれません。自然の営みによる変化を追跡してみましょう。

台風 前

台風 後

【講演】
淀川におけるアユ等魚類の遡上量の変遷と近年の動向
～京の川の恵みを活かす会代表
・京都大学准教授　竹門 康弘 さん～

2013年の鴨川のアユは、遡上数が約2,300尾で、2012年の約3万尾を大きく下回り、鴨川下流域で全くアユが目視できなかった。原因は、淀川の遡上数が少なかったこと、下流部の水温が高かったこと、高水温時の避難場所である湧水箇所が工事で消滅したことなどだそうです。

では、淀川のアユ遡上数は何に影響されるのか？淀川大堰での遡上数は、2003-13年で3千～15万尾と変動が大きい。3-4月に淀川の流量が多いと遡上数が多い。海面水温は、1月に9℃、2月に8℃を下まわった年は遡上数が多いことが報告されました。

市民や他の河川団体関係者など53名が参加

親しみのあるアユですが、その生態はまだまだ分かっていません。芥川倶楽部は、アユの謎解きをとおして、今後とも、淀川やその他流域の活動団体と交流を深めたいと考えています。

芥川倶楽部 1月定例活動の報告　1月18日

毎月第三土曜日にあくあぴあ芥川の周辺で行っている定例活動。今回は冬にもかかわらず、ぜひ芥川で釣った魚を食したいとの願望のもと、オイカワ釣りをしてみました。

当日は非常に寒い日で、水温も低かったせいか、魚影は確認できるものの、魚の食いつきは悪く、「サビキ仕掛け」、「浮き釣り」も試してみましたが、残念ながら魚を釣り上げることはできませんでした。季節が進み、桜の咲くころになると、魚もエサを活発に食べるようになり、そうなるとたくさんつれるようになるそうです。暖かくなったら、ぜひもう一度釣り糸をたれ、今度こそ釣った魚を塩焼きや、天ぷらにして食べてみたいものです。

次回は、みなさんも、ぜひ、ご一緒にいかがですか？

今年も実施！　特定外来生物 ミズヒマワリ駆除作戦　11月30日

特定外来生物「ミズヒマワリ」は繁殖力がとても強く、川の生態系に大きな影響を与えます。芥川倶楽部や市民会議水グループでは、大阪府、高槻市と連携して、2005年から調査・駆除に取組み、今では上流から城西橋までは、ほとんど見られなくなりました。しかし、城西橋から下流には、残念ながらたくさん残っており、まだまだ駆除が必要です。

今回のイベントは、津之江公園の周辺が駆除範囲です。芥川倶楽部、関西大学と摂南大学の学生、高槻市、大阪府、その他総勢50名が参加しました。

川の中なので胴長靴を着ての駆除作業です。2隻のボートでの搬送も威力を発揮しました。すばらしい秋晴れの暖かい日で、好天に恵まれたことと、大勢の方の参加があり、2tトラックの荷台が一杯になるほど駆除ができました。今後も、上流での駆除成果をふまえ、下流側もミズヒマワリの根絶を目指して行きたいと考えています。

ボートからダンプへ移動だ！

たかつきエコフェスタ2014に参加しました　1月24日・25日

毎年恒例の「たかつきエコフェスタ」。今年は「あつまれ　つながれ　高槻でがんばるエコな人」をテーマに開催され、芥川倶楽部を含む12団体が参加し、展示や工作などを行いました。

芥川倶楽部の内容は、活動紹介パネル、今年作成した外来生物の解説「外来生物ってなあに？」の展示と、芥川水辺だよりやイベントチラシどを配布して活動のPRを行いました。そして、今回、初めて「魚釣りゲーム」も出展。たくさんの親子で最後まで大賑わいでした。魚釣りゲームの後は、実際の魚を見に水槽へ。そして大阪府の「私の水辺」の缶バッチづくりにと、各ブースの連携がうまくいった展示でした。その他、メンバーの「新川姫蛍と花を守る会」はヒメボタルの幼虫を展示。「たかつき環境市民会議水環境保全グループ」は、タナゴ類が入った水槽と、芥川の魚類が入った水槽、芥川の魚パネル、そして新たな試みとして活動をビデオで紹介しました。

今年は、2日間合せて1,200名の来場があり大満足の2日間でした。

白熱教室！『外来生物のおはなし』　12月7日

基調講演は、外来生物とその対策に詳しい滋賀県立琵琶湖博物館の中井克樹先生に、「外来生物と生物多様性」と題してお話しいただきました。外来種でも在来種でも、生物のバランスを崩すことに問題があり、外来種は「よそ者」だから悪いのではなく、在来種との関係が築けていないところが問題である、といったお話を伺えました。外来種は、入れないこと、広げないことが大切で、あくあぴあ芥川の高田主任学芸員からは、芥川倶楽部が芥川で2006年から48回ものミズヒマワリ駆除とパトロールを実施していることについて、成果とその苦労について報告がありました。

情報交換会は、淀川管内河川レンジャー石山さんが司会。「人を自然に近づける川いい会」の馬場さんから特定外来生物のアルゼンチンアリについて報告があった後、会場からも様々な質問が出ました。

その中でも印象的だったのは、「特定外来生物のナルトサワギクを花壇に植えている人がいる。どうしたらいいか？」というもの。「植えている人には、なぜいけないのかを、教えてあげてください。」との回答。その他にも多数の質問や意見があり、とても充実した講座となりました。

※この講座は平成25年度KJB瀬戸内基金助成金により開催しました。